

# 学習指導要領の理念を踏まえた自立活動の指導の 現状と課題

企画者 吉川 知夫（国立特別支援教育総合研究所）  
司会者 金子 健（国立特別支援教育総合研究所）  
話題提供者 北川 貴章（国立特別支援教育総合研究所）  
岩附 敦史（静岡県立富士特別支援学校）  
長尾 あゆみ（高知県立高知若草特別支援学校）  
指定討論者 菅野 和彦（文部科学省）

KEY WORDS: 学習指導要領、自立活動、個別の指導計画

## 【企画趣旨】

インクルーシブ教育システムの推進に向けて、個々の障害の状態に応じた自立活動の指導を充実させていくことは重要な課題である。自立活動は、学校教育法第 72 条の特別支援学校の目的実現に向けた、特別支援学校の教育課程の要となる指導である。また、特別支援学級や通級による指導においても、特別の教育課程を編成して、特別支援学校学習指導要領に示されている自立活動の目標や内容を取り入れたり、参考にしたりにして指導が展開されている。

平成 29 年及び平成 31 年に告示された学習指導要領においては、これまでの自立活動の理念を継承し、多様な学びの場における自立活動の指導が、幼児児童生徒の自立と社会参加の質の向上につながるような指導となることを踏まえ、「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策などについて」（中央教育審議会答申、2016）に基づいて改訂が行われた。

主な改訂内容は以下のとおりである。

- 自立活動の内容においては、「1 健康の保持」の区分に「(4) 障害の特性の理解と生活環境の調整に関すること。」の項目を新たに設けた。
- 個別の指導計画の作成と内容の取扱いにおいては、個別の指導計画の作成についてさらに理解を促すため、実態把握から指導目標（ねらい）や具体的な指導内容の設定までの手続きの中に、「指導すべき課題」を明確にすることを加え、手続きの各過程を整理する際の配慮事項をそれぞれ示すこととした。
- 児童生徒自身が活動しやすいように環境や状況に対する判断や調整をする力を育むことが重要であることから、小学部及び中学部においては、「個々の児童又は生徒に対し、自己選択・自己決定する機会を設けることによって、思考・判断・表現する力を高めることができるような指導内容を取り上げること。」を新たに示した。
- 平成 29 年に告示された小学校学習指導要領及び中学校学習指導要領、平成 30 年に告示された高等学校学習指導要領において、特別支援学級や通級における指導で自立活動の指導を行うことが明記された。

本シンポジウムでは、学習指導要領の改訂を踏まえた自立活動の指導の改善・充実に向けた方策について、本研究所が平成 29 年度及び平成 30 年度に実施した調査結果や実践事例などを基に検討したい。

## 【話題提供 1】（調査結果から）

国立特別支援教育総合研究所では、平成 29 年度及び平成 30 年度に新学習指導要領に基づく教育課程の編成・実施にむ

けた実態を把握するために、質問紙調査を実施した。本シンポジウムにおいては、自立活動の指導の年間授業時数や個別の指導計画の作成過程における「指導すべき課題」を明確にする各校の取組状況などを中心に話題提供を行い議論する。

## 【話題提供 2】（特別支援学校の現状）

自立活動は特別支援教育の根幹ともいえる指導領域であり、高い専門性が必要となる。本校では、平成 22 年度から「支援シート」（ICF の関連図）を用いて、個別の指導計画の作成を行っているが、大規模化や若手教員数の増加など、学校現場が抱える様々な諸問題から、その理念や活用方法の継承が課題となっている。また、「指導すべき課題」の明確化において、新たな手続きツールの活用も検討課題となっている。これらの現状を踏まえて話題提供を行う。

## 【話題提供 3】（流れ図を活用した実践事例）

自立活動の課題として、個々の幼児児童生徒の実態と実際の指導の乖離などが指摘されている（文部科学省、2016）。平成 29 年及び平成 31 年に告示された特別支援学校学習指導要領では、実態把握から指導目標・指導内容の設定までの過程において、「指導すべき課題」を明確にしながら、個別の指導計画を作成することが明記された。そこで本校においては、特別支援学校学習指導要領解説自立活動編に例示された「流れ図」を参考に、自校の自立活動の個別の指導計画の作成手続の改善に取り組んだ。本シンポジウムでは、昨年度の実践を中心に話題提供を行う。

## 【指定討論】（新学習指導要領と自立活動）

特別支援学校においては、小・中学校等と同様の各教科等に加えて、自立活動の領域を設定し、それらを指導することによって人間として調和のとれた育成を目指しており、自立活動の指導は、教育課程上重要な指導領域である。

本シンポジウムでは、話題提供で取り上げられる課題や取組から、改訂された学習指導要領を踏まえ、教育課程の編成、及び自立活動の指導の改善・充実につがる具体的な方策について協議したい。

（本シンポジウムで報告した調査は、国立特別支援教育総合研究所の倫理審査を経た上で実施した。）

(YOSHIKAWA Tomoo, KANEKO Takeshi, KITAGAWA Takaaki, IWATSUKI Atsushi, NAGAO Ayumi, KANNO Kazuhiko)